

第4次福岡市食育推進計画 具体的な目標値(案)の設定について

目指す姿			
具体的な目標値	策定時 (令和2年度)	目標値(案) (令和8年度)	目標値(案)の設定理由
食育に関心を持っている			
①食育に関心を持っている市民の割合	72.2%	90%以上	第3次計画の目標値を継続
充実した朝食を毎日食べている			
②朝食を欠食する市民の割合(小学生)	6.6%	0%	第3次計画の目標値を継続
③朝食を欠食する市民の割合(中学生)	7.9%	0%	第3次計画の目標値を継続
④朝食を欠食する市民の割合(20～30歳代)	26.8%	18%以下	第3次計画の目標値を継続
バランスの良い食事をとっている			
⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	43.1%	55%以上	第3次計画の目標値を継続
⑥主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合(20～30歳代)	29.0%	38%以上	第3次計画の目標値を継続
⑦主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 食べるのが週に3日以下の市民の割合(70歳以上)	19.0%	10%以下	第3次計画の目標値を継続
生活習慣病の予防や改善のために、食生活に気をつけ、実践している			
⑧生活習慣病の予防のために、ふだんから食生活に気をつけ、 実践している市民の割合	72.2%	77%以上	第3次計画の目標値を継続
⑨生活習慣病の予防のために、ふだんから食生活に気をつけ、 実践している市民の割合(30～40歳代)	66.1%	68%以上	第3次計画の目標値を継続
食塩の取り過ぎに気をつけ、実践している			
⑩食塩を取り過ぎないように気をつけ、実践している 市民の割合	64.2%	70%以上	第3次計画の目標値を継続
よく噛んで食べている			
⑪ ゆっくり よく噛んで食べる市民の割合	参考値 54.4%	55%以上	国の第4次計画目標値と同じ「55%以上」とする
食の安全に関する正しい知識を持ち、実践している			
⑫食の安全に関する正しい知識を持ち、実践している 市民の割合	94.0%	95%以上	第3次計画の目標値を継続
福岡産のものを積極的に利用している			
⑬ 学校給食における市内産農林水産物利用割合	24.5%	32.4%以上	次期農林業総合計画の目標値と同じ「32.4%以上」とする
⑭ うまかもん認定店における市内産農林水産物の使用 が増えた認定店の割合	19%	90%以上	次期農林業総合計画の目標値と同じ「90%以上」とする
福岡市の農林水産業に対する理解を深める			
⑮ 福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う 市民の割合	73.7%	85%以上	次期農林業総合計画の目標値と同じ「85%以上」とする
環境に配慮した食生活を送っている			
⑯ 食品ロスを削減 するために何らかの取組みを行っている 市民の割合	参考値 91.9%	95%以上	市民のほとんどが実践していると言える「95%以上」を目標値とする
行事食や郷土料理を取り入れ、次世代に伝えている			
⑰ふだんの食事に行事食や郷土料理を取り入れている 市民の割合	62.2%	66%以上	・現状値が最も低いのは、20歳代の51.1%(30歳代58.1%、40歳代 57.6%、50歳代65.8%、60歳代64.8%) ・現状値が最も高い70歳以上の現状値「66%」を目標値として設定し、 70歳以下の全ての世代が66%以上を目指す